

土爾扈特汗王入京の先驅ならん乎。

二十七日午前九時十分觀音堂を發し、韓濠（戸數約八十戸）駕車嶺（チャイチヨリン）を経て廟溝（ミヤオコウ）に到る。其の東方約百米突の高地に古關あり、藩離（フアンリ）と名づく。次で張茅鎮（チャンマオチエン）を過ぎ行程約十里磁鍾（ツイチヨン）に宿す地形は觀音堂を距る約一里の地點より山腹道を爲し、緩漫なる降坂、蜿蜒三里弱、陝石驛（シャンシイ）の谷地に及び、更に昇降相交はりて一里餘に達す。此の如き山間の長隘路なるも路面は往々岩石の凸起するもの有るの外は、又何等の障礙なし。而して張茅鎮以西に至りては、一轉開濶の地と變じ、漸次低下、凹道は其の臺地上を走り、現時新道を其傍に設けつゝ在るを見る。韓濠は無煙炭を出し、礦脈處々に露出せり。

二十八日午前九時四分、磁鍾を去り、五里堡（コワンデーミヤオシヤオワー）開帝廟燒瓦等の諸村落を過ぎ、午前十一時五十分、行程五里、陝州（シャンチョウ）に入る。此間道路は依然皆凹道なるも關帝廟の以東に及んで始めて路外開濶且つ平坦にして、處々緩徐なる波狀地を見る。又同所以西の道路の南側は往々深き陷沒地を有し、北側は、急坡の階段地を成せば雨時乃至雨後には、北側に由るを可とす。